

平成 27 年度版 MY WAY English Communication III

発行者		教科書	
番号	略称	記号	番号
15	三省堂	コⅢ	306

1-1. 生徒の知的好奇心を刺激する、現代社会をとらえた新鮮な題材を選びました。

- ・ことばの教育、国際理解教育、人間教育を題材内容の基本とし、これらの領域で生徒の知性や感性を考慮して、生徒の興味を喚起する内容としました。
- ・題材は、日常生活・学校生活、国際協力や社会貢献、言語と民族、人権、比較文化、平和や地球環境、動物との共生、自然科学や芸術、IT 社会、歴史、スポーツ、健康、人間としての生き方など多様な内容にしました。
- ・場面や登場人物は、英語が広く使われている現況と国際理解の課題との関係から、日本を中心に、英語圏諸国、アジア、ヨーロッパ、中東の国及び人物を配置しました。

1-2. コミュニケーションという観点を重視し、言語の使用場面と働きを明確かつ多岐にわたって設定しました。

- ・「本課」「Your Opinion」などでは、言語の「使用場面」と「働き」を考慮し、4 技能の総合的・統合的な関連が図れるように、説明文、エッセイ、論説文、討論、発表、報告、物語などさまざまな形式を工夫しました。
- ・特に会話で多用される慣用的な表現についても、「コミュニケーション英語 I・II」における学習を踏まえながら、基本的なものを精選して系統的に扱いました。

2-1. 教材の精選をはかり、カリキュラムにゆとりをもたせると同時に、授業計画に柔軟に対応できる構成としました。

2-2. 4 技能を総合的・有機的に関連づけた活動が行えるようにしました。

- ・本文の内容を問うリスニング問題など、「聞く」活動や音声指導がしやすいように工夫しました。
- ・「本課」「Your Opinion」では、「読んで書く」「書いて話す」「調べて報告する」「話し合って発表する」など、4 技能を組み合わせる活動ができるように配慮しました。

2-3. 言語材料は、既習の学習事項を再確認しやすいように配列しました。

- ・「コミュニケーション英語 I・II」で学習した文型・文法事項を繰り返し扱い、反復学習ができるようにしました。

2-4. 本文を多角的に読むための工夫をしました。

- ・ Unit 1 では「Reading Skill」を 11 項目配置し、「コミュニケーション英語 I・II」で学習した読み方の技術を確認しながら、系統的に学習できるようにしました。
- ・ Unit 2, 3 では各課の課末に「Think」を配置し、PISA 型読解力の強化を図りました。

2-5. 指導上・学習上の便宜を図った紙面構成としました。

- ・ 生徒の学習段階を考慮して、本課を Unit 1 (約 150 語)・2 (約 300 語)・3 (約 600 語) の 3 つの Unit に分けました。
- ・ Unit 1 では、本文と活動を「見開き」構成にして学習の見通しを立てやすくしました。
- ・ Unit 2, 3 では、本文および内容確認などの活動をそれぞれ見開き単位で扱い、内容の一覧性を高めました。
- ・ Unit 1 の「Q&A」では本文の内容に関する 3 択問題を配置しました。「Read Again」は文章の骨子を抜き出す形の内容確認の問題とし、本文要旨の把握をやすくしました。
- ・ Unit 2, 3 の「Comprehension」では本文の内容に関する 4 択問題を配置しました。「Summary」は本文全体を要約する形の内容確認の問題とし、本文要旨の把握をやすくしました。
- ・ 本文の傍注には新語、連語・熟語、表現を示しました。表現の一部については訳語を付し、生徒の学習のしやすさに配慮しました。Unit 2, 3 にはリスニングでの T-F テストを配置しました。

2-6. 発展的な学習ができるような工夫をしました。

- ・ Unit 2, 3 の各課の課末の「Your Opinion」では、本課のテーマをさらに幅広く展開させるような話題を選定し、より広範な自己表現活動やグループ活動ができるようにしました。

2-7. 写真や図版を効果的に用い、学習効果を高めるための工夫をしました。

- ・ 題材に関する興味を喚起し、内容理解の一助にするために、写真や図版を豊富に配置しました。
- ・ 課間の「Signs around Town」では、英語圏の实在の看板を示し、オーセンティックな英語に触れる機会を用意しました。